

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合計)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動の進め方について学ぶ			
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験			
使用教材	I PAD SUCCESS			
授業外学習 の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	講師紹介 1-1 これからどう生きるのか(宿題として視聴)	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのか	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	圧迫面接	
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	2-3(実践編) 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	1 3-4から3-6-2 ・3-4自己PRのネタを探す	
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	3-4から3-6-2 ・3-4-1自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	3-4から3-6-2 ・3-4-2自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る	
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	3-4から3-6-2 ・3-5自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	16	自己PRの作り方1	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	17	自己PRの作り方2	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	18	自己PRの作り方3	3-7 業界、会社に合った自己PR 作り	
	19	中間テスト		
	20	履歴書作成	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学 I (就職実務)		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合計)		週時間数	1時間
学習到達目標	就職活動の進め方について学ぶ			
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験			
使用教材	I PAD SUCCESS			
授業外学習 の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	3-8・3-8(実践編)、加えて3-1~3-3(実践編)、3-6~3-6-2まで 履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	5-1.5-2 準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	5-2~5-3(実践編) 入退室	
	8	職試験のマナー 2	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	5-2~5-3(実践編) 面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	5-5.5-5(実践編) 筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務 I		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数	50時間	週時間数	2時間	
学習到達目標	社会人としての常識・マナーを身に付ける 翌年 6月 3級合格を目指す			
評価方法 評価基準	授業態度・課題・検定結果・期末テスト			
使用教材	秘書ハンドブック・問題集・テキスト			
授業外学習 の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	オリエンテーション	秘書検定について	
	2	聞き方の基本	命令・指示・忠告を受ける際の聞き方	
	3	交際業務	慶事・弔事・贈答(上書き・水引)	
	4	パーティ・会議の知識	会議の形式・種類	
	5	文書作成	社内・社外文書	
	6	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い	
	7	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い	
	8	オフィス機器・事務機器・ファイリング	資料整理・環境管理	
	9	検定対策		
	10	検定自己採点・解説	回答解説	
	11	期末テスト		
	12	期末テストの振り返り	回答解説	
	13	接客マナー	サービスのマナーを学ぶ	
	14	ご案内	文章とあいさつ	
	15	接客対応	実践	
	16	テーブルマナー	配膳とサービス	
	17	まとめ		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー	指導担当者名	村山 隆
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	Word,Excel,PowerPointの基礎を身につける		
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験		
使用教材	Excelクイックマスター基本編、Wordクイックマスター基本編		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	パソコンの設定。ID、pass設定
	2	Chapter1 Wordの基本 Chapter2 文字の入力と編集の基本操作	ページの書式設定 文字の書式設定 文字幅と文字間隔の設定 文字列の配置 字下げと行間の設定 禁則処理 罫線と網かけ
	3	Chapter2 文章の編集	改ページの挿入、ヘッダーフッターの設定、印刷の実行
	4	Chapter3 文章の印刷	あいさつ文、入力フォーマット(段落、段落。書式設定、タブ、インデント等
	5	Chapter4 文章の作成	文章入力
	6	Chapter5 表の挿入	表の作成、編集
	7	Chapter6 図や写真を使う文章	図や写真を使った文章作成
	8	総合学習問題	問題解凍後、回答解説
	9	練習問題1	問題解凍後、回答解説
	10	練習問題2	問題解凍後、回答解説
	11	練習問題3	問題解凍後、回答解説
	12	模擬問題1	問題解凍後、回答解説
	13	模擬問題2	問題解凍後、回答解説
	14	模擬問題3	問題解凍後、回答解説
	15	模擬問題4	問題解凍後、回答解説
	16	模擬問題5	問題解凍後、回答解説
	17	模擬問題6	問題解凍後、回答解説
	18	文章作成問題	問題解凍後、回答解説
	19	テスト	
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ITリテラシー		指導担当者名	村山 隆	
実務経験	イメージスタジオ代表デザイナー実務経験25年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	Word,Excel,PowerPointの基礎を身につける				
評価方法 評価基準	出席・課題提出・試験				
使用教材	テキスト・ノート・パソコン				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	Chapter1	Excelの基本		
	2	Chapter2	データの編集(練習問題)		
	3	Chapter3	データ編集		
	4	Chapter4	印刷		
	5	Chapter5	グラフと図形の作成		
	6	Chapter6	ブック利用と管理		
	7	Chapter7	関数		
	8	Chapter8	データベース機能		
	9	総合問題	問題解凍後、回答解説		
	10	練習問題1	問題解凍後、回答解説		
	11	練習問題2	問題解凍後、回答解説		
	12	模擬問題1	問題解凍後、回答解説		
	13	模擬問題2	問題解凍後、回答解説		
	14	模擬問題3	問題解凍後、回答解説		
	15	模擬問題4	問題解凍後、回答解説		
	16	テスト			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	アロマセラピー		指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年	
授業方法	講義:◎	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)		週時間数	3時間
学習到達目標	アロマセラピー検定2級合格。 アロマの効能効果を理解し、美容業界で働く中で役立てる。			
評価方法 評価基準	アロマセラピー検定2級合格 授業態度 期末テスト			
使用教材	アロマセラピー検定テキスト2級			
授業外学習 の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション アロマセラピーとは		
	2	アロマセラピーの基礎知識	アロマセラピーの意味・目的	
	3	アロマセラピーの基礎知識	アロマセラピーを利用する際の注意・アロマセラピーの利用法	
	4	アロマセラピーの基礎知識	アロマセラピーに使われる基材・用具	
	5	アロマセラピーの基礎知識	アロマセラピーに関する法律	
	6	検定で出題される精油プロフィール	アロマセラピーに関する法律	
	7	精油の基礎知識と身体への作用	精油に関する基礎知識	
	8	精油の基礎知識と身体への作用	精油の心身への作用	
	9	精油の基礎知識と身体への作用	アロマセラピーと健康	
	10	精油の基礎知識	古代～中世	
	11	精油の基礎知識	近世～現代	
	12	テスト		
	13	アロマセラピーと環境	作品づくり	
	14	2級10種類の精油	作品づくり	
	15	精油のブレンド	マッサージオイル作り	
	16	ハンドマッサージ	作ったオリジナルオイルを使用	
	17	一門一答問題集		
	18	2級模擬問題		
	19			
	20			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	アロマセラピー	指導担当者名	柿沼 文恵
実務経験	エステティシャン5年、美容関係営業2年		実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年
授業方法	講義:◎	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	90時間(前後期合わせて)	週時間数	3時間
学習到達目標	アロマセラピー検定2級合格。 アロマの効能効果を理解し、美容業界で働く中で役立てる。		
評価方法 評価基準	アロマセラピー検定2級合格 授業態度 期末テスト		
使用教材	アロマセラピー検定テキスト2級		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	アロマ検定2級対策	テキストと過去問題で対策を組む
	2	アロマ検定2級対策	キャンドルやせっけんをつくる
	3	アロマ検定2級対策	キャンドルやせっけんをつくる
	4	アロマ検定2級対策	試験対策
	5	アロマ検定2級対策	試験対策
	6	検定対策	試験対策
	7	検定の振り返り	試験対策
	8	アロマ石鹸作り	作品制作
	9	アロマトリートメント	作品制作
	10	化粧品作り	作品制作
	11	テスト	
	12	その他のセラピーについて	
	13	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ファッションコーディネート		指導担当者名	佐藤 雅之	
実務経験	アパレルメーカー勤務実務経験10年			実務経験:	
開講時期	前期	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数	40時間	週時間数	2時間		
学習到達目標	・戦後から今日まで様々な変化したファッションの歴史、ファッション・コーディネートの種類、ファッション・ビジネス、商品知識や企画の立て方など、スタイリストとしての基本的な知識、専門技術を理解させる				
評価方法 評価基準	・出席 ・授業態度 ・提出課題 ・中間試験課題提出 等の成績評価を100点満点で点数化して総合評価する				
使用教材	テキスト 学校法人 文化学園 文化出版局 発行「スタイリスト&コーディネーターの条件」参照				
授業外学習 の方法	・プリントの該当範囲を事前に読んでおくこと				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ファッション概論 / ファッションとは 等	
	2	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストとは / スタイリストの仕事の種類と分類 等	
	3	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	スタイリストの仕事 等	
	4	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ウェディングプランナーとスタイリスト 等	
	5	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	ヘアメイクアップアーティスト 等	
	6	第1章 これから必要とされるスタイリスト、コーディネーター	テキスト準備	インテリアコーディネーター / カラーリスト 等	
	7	第2章 色の知識と基本的な技術	テキスト準備	色の体系 / 色彩 / 色の効果 / 流行色とファッション情報 等	
	8	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	着物文化から洋服文化へ 等	
	9	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済高度成長期 マスプロ、マスセル 等	
	10	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	経済低成長期 スタイリストの誕生(量から質へ)	
	11	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	バブル経済 DCブランド～インポートブランド	
	12	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	ラグジュアリーブランドの発展	
	13	第3章 戦後ファッション概観	テキスト準備	国際的な不況の時代 ファストファッション アジアの時代	
	14	中間テスト	テスト問題準備		
	15	中間テストフィードバック	テスト問題準備		
	16	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ファッションコーディネートの基本原理 等	
	17	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	素材の組み合わせによるコーディネート 等	
	18	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	イメージの組合せによるコーディネート	
	19	第4章 ファッションコーディネート技術の必要性	テキスト準備	ライフスタイルによるコーディネート	
	20	まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	心理学	指導担当者名	阿部 友紀
実務経験	東北大学実務研究員7年		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数	40時間	週時間数	1時間
学習到達目標	自己分析・コミュニケーション能力を通してセラピーや接客につなげる		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テスト		
使用教材	健康の心理学		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	カウンセリングの必要性
	2	健康心理学とは何か	資料を配布レクチャー
	3	ストレスとその対処	深層心理について
	4		心理テスト
	5	ライフスタイルと健康増進	精神的な落ち込みに関して
	6		心理テスト
	7	生活習慣と疾病予防	レクチャとディカッションを行う
	8	生活習慣と疾病予防	レクチャとディカッションを行う
	9	疾病とヘルスサービス	レクチャとディカッションを行う
	10	疾病とヘルスサービス	レクチャとディカッションを行う
	11	痛みとその対処	レクチャとディカッションを行う
	12	痛みとその対処	試験対策
	13	期末テスト	
	14	疾患と健康心理学	レクチャとディカッションを行う
	15	重篤な疾患と健康心理学	レクチャとディカッションを行う
	16	重篤な疾患と健康心理学	レクチャとディカッションを行う
	17	重篤な疾患と健康心理学	レクチャとディカッションを行う
	18	重篤な疾患と健康心理学	レクチャとディカッションを行う
	19	健康心理学の将来	レクチャとディカッションを行う
	20	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I	指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	通年90時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級、2級取得を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度、テスト		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2. 3級対策テキスト		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	
	2	PART1 まちがえがちな美容知識をチェックする	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	3	PART1 まちがえがちな美容知識をチェックする	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	4	PART2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	5	PART2 皮膚・肌について知ろう	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	6	肌の構造	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	7	肌の構造	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	8	肌の構造	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	9	PART3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	10	PART3 肌の手入れと正しい知識	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	11	肌タイプの見分け方	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	12	肌タイプの見分け方	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	13	中間テスト	
	14	肌悩みの原因、お手入れについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	15	肌悩みの原因、お手入れについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	16	ニキビについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	17	ニキビについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	18	シミについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	19	シミについて	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	20	くすみ、くまについて、しわ、たるみの原因	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学 I	指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	通年90時間(前後期合わせて)	週時間数	2時間
学習到達目標	日本化粧品検定3級、2級取得を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度、テスト		
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定2. 3級対策テキスト		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	メイクアップの基本テクニック	メイク用品、実際に相モデルで行う
	2		メイク用品、実際に相モデルで行う
	3		メイク用品、実際に相モデルで行う
	4	ハイライト、シェーディングの入れ方	メイク用品、実際に相モデルで行う
	5		メイク用品、実際に相モデルで行う
	6		メイク用品、実際に相モデルで行う
	7	アイシャドウ、アイライン、マスカラ、チーク、口紅	メイク用品、実際に相モデルで行う
	8		メイク用品、実際に相モデルで行う
	9		メイク用品、実際に相モデルで行う
	10	PART4 美肌・美ボディー生活をおくるには	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	11	期末テスト	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	12	PART4 美肌・美ボディー生活をおくるには	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	13		日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	14	劣化させる原因、紫外線が肌に与える影響	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	15		日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	16	マッサージの必要性、生活習慣、配合成分について	日本化粧品検定2. 3級対策テキスト
	17		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I	指導担当者名	遠藤 淳子
実務経験	ネイルサロンオーナー 実務経験34年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間(前後期合せて)	週時間数	6時間
学習到達目標	ネイルの基礎を学び、ネイリスト技能検定3級、ジェルネイル初級を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テスト		
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識
	2	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	3	基礎理論 (爪の病気・トラブル)	基礎知識を理解・筆記テスト対策
	4	ファイルの使い方・ケア	指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧
	5	ケア・カラー	ブッシュアップ・ニッパワーク・流れを説明・実習。
	6	ケア・カラー (カラ5本指)	最初からの通し
	7	ケア・カラー	1つ1つ説明しながら相モデルで通し。
	8	アート	課題アートの描き方
	9	手指消毒～ケア	40分
	10	カラー～仕上げ	40分
	11	通し計測	80分
	12	中間テスト 通し計測	80分
	13	ネイル3級検定	検定試験
	14	ジェルネイルの基礎	ジェルとは ドライケア
	15	カラーリング	ジェルとポリッシュの違い
	16	アート	ジェルアート(ピーコック)
	17	カラーリングからアート	通し計測
	18	期末テスト	通し計測
	19	カラーリングからアート	通し計測
	20	ジェル初級検定	検定試験
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル I	指導担当者名	遠藤 淳子
実務経験	ネイルサロンオーナー 実務経験34年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	180時間(前後期合せて)	週時間数	6時間
学習到達目標	ネイリスト技能検定2級1月を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テスト		
使用教材	ネイルボックス ネイリスト技能検定テキスト JNAテクニカルシステムジェルネイル		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	一年の復習	模擬試験
	2	2級内容確認	検定説明
	3	ネイルチップラップ説明	検定準備
	4	ネイルチップラップ説明	溶剤の使用法
	5	ネイルチップラップ説明	チップの合わせ方
	6	ネイルチップラップ説明	ハンド使用
	7	実技前半35分	相モデルで練習する
	8	実技前半35分	相モデルで練習する
	9	実技前半35分	相モデルで練習する
	10	実技前半35分	相モデルで練習する
	11	期末テスト	
	12	実技後半55分	相モデルで練習する
	13	実技後半55分	相モデルで練習する
	14	実技試験通し 90分	相モデルで練習する
	15	ネイリスト検定2級	検定試験
	16	復習	相モデルで丁寧に復習する
	17	復習	相モデルで丁寧に復習する
<p>履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない</p>			

授業計画(シラバス)

科目名	ジェルネイル I	指導担当者名	大原 麻弥
実務経験	ネイリスト 実務経験7年		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	60時間	週時間数	3時間
学習到達目標	ジェルネイルの基礎を身に付け、デザイン力を身に付ける		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・技術テスト		
使用教材	ネイル用具・ジェルネイルセット		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 前期	1	ジェルネイルの基礎	ジェルとは
	2		ドライケア
	3	カラーリング	ジェルとポリッシュの違い
	4	カラーリング	
	5	アート	ジェルアート(ピーコック)
	6	アート	グラデーション
	7	アート	フレンチ
	8	アート	マーブル
	9	アート	グリッター・ストーンの使い方
	10	夏アート	相モデルでの練習
	11	秋アート	相モデルでの練習
	12	ジェルアート レース	相モデルでの練習
	13	中間テスト	相モデルでの練習
	14	作品作り	相モデルでの練習
	15	ジェルアート 宝石	相モデルでの練習
	16	ジェルアート シースルー	相モデルでの練習
	17	ジェルアート チェック	相モデルでの練習
	18	ジェルアート 豹柄	相モデルでの練習
	19	ジェルアート ニット柄	相モデルでの練習
	20	作品作り	相モデルでの練習
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク I		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年		
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	180時間(前後期合せて)		週時間数	4時間	
学習到達目標	メイクの技術・知識を身に付ける FMS ベーシック修了試験				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・技術試験				
使用教材	メイク教材 プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト(FORUM MAKE-UP)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	メイク教材チェック	材料の理解・使い方・検定について		
	2	骨格について	輪郭、パーツを知る。		
	3	肌の仕組み	肌の仕組み、状態を知る。		
	4	肌の仕組み	肌のタイプを知る。		
	5	第一印象、肌の状態、チェック。	実際相モデルで肌に触れ診断する。		
	6	マッサージ (自分の顔)	マッサージの仕方。		
	7	マッサージ (相モデル)	相手の肌に触れる。		
	8	ファンデーション(自分の顔)	色合わせ		
	9	ファンデーション(相モデル)	色合わせ		
	10	ファンデーション(相モデル)	色合わせ		
	11	アイメイク	グラデーションのやり方		
	12	アイメイク(ファンデーション～アイシャドー)	ファンデーションから通して実施		
	13	テスト	アイシャドウまで		
	14	アイブロー	眉の形について		
	15	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)	ファンデーションから通して実施		
	16	アイブロー(ファンデーション～アイブロー)	ファンデーションから通して実施		
	17	チークについて	チークの位置、バランス		
	18	リップについて	リップの書き方		
	19	トータルメイク	トータルバランス確認の仕方		
	20	シェーディング・ハイライト	顔形にあったハイライト、シェーディング		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	メイク I		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	メイク・ネイル学科 1年	
授業方法	講義:○	演習:◎	実習:	実技:	
時間数(通年)	180時間(前後期合せて)		週時間数	4時間	
学習到達目標	メイクの技術・知識を身に付ける FMS ベーシック修了試験				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・技術試験				
使用教材	メイク教材 プロフェッショナルベーシックメイクアップコーステキスト(FORUM MAKE-UP)				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	全体バランスメイク	色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	2	タイム計測	全体のタイムを知る		
	3	シェーディング・ハイライト	顔形にあったハイライト、シェーディング		
	4	全体バランスメイク	色合わせ、輪郭にあったメイクをする		
	5	タイム計測	全体のタイムを知る		
	6	修了試験同様タイム計測	45分計測(時間内にできるようにする)		
	7	修了試験同様タイム計測	46分計測(時間内にできるようにする)		
	8	修了試験同様タイム計測	47分計測(時間内にできるようにする)		
	9	修了試験同様タイム計測	48分計測(時間内にできるようにする)		
	10	修了試験同様タイム計測	49分計測(時間内にできるようにする)		
	11	期末テスト			
	12	筆記対策	過去問対策		
	13	筆記対策	過去問対策		
	14	筆記対策	過去問対策		
	15	修了試験実技			
	16	修了試験筆記			
	17	メイクプラン作成	相手の顔を知る(輪郭・パーツ)		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験:
開講時期	後期	対象学科学年	メイク・ネイル学科1年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数	75時間	週時間数	2時間
学習到達目標	一年間の集大成としての作品作り		
評価方法 評価基準	プレゼン、提出課題		
使用教材	I pad メイク用品		
授業外学習の方法	予習復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	パワーポイントの使い方	
	2	パワーポイントの使い方	
	3	テーマを決める	
	4	作品案を考える	
	5	企画書づくり	
	6	企画書づくり	
	7	ヘアメイクプランシート作成	
	8	ヘア実践	相モデル
	9	メイク実践	相モデル
	10	ネイル案シート作成	
	11	ネイル作成	
	12	全体プランシート作成	
	13	期末テスト	
	14	パワーポイント作成	
	15	パワーポイント作成	
	16	プレゼン練習	
	17	プレゼン発表	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合せて)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習 の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	オリエンテーション	就職活動について	
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に基づくレクチャー	
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実践編) 身だしなみ	
	4	就職活動の流れ	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い	
	5	職業を知る	業界の常識をレクチャー	
	6	情報収集、企業研究、資料請求1	2-2(実践編) 業界マップの理解	
	7	情報収集、企業研究、資料請求2	2-3 業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	8	情報収集、企業研究、資料請求3	業界ごとに必要な仕事内容を理解する	
	9	自分次死因を知る 自分史作成 1	自己PRのネタを探す	
	10	自分次死因を知る 自分史作成 2	自己PRのネタを探す(経験)	
	11	自分次死因を知る 自分史作成 3	自己PRのネタを探す(特性)	
	12	自分次死因を知る 自分史作成 4	自己PRの骨格を作る	
	13	自分次死因を知る 自分史作成 5	自己PRの骨格を作る(実践編)	
	14	志望動機の作り方 1	業界、会社にあった動機作り	
	15	志望動機の作り方 2	業界、会社にあった動機作り	
	16	自己PRの作り方1	業界、会社に合った自己PR 作り	
	17	自己PRの作り方2	業界、会社に合った自己PR 作り	
	18	自己PRの作り方3	業界、会社に合った自己PR 作り	
	19	中間テスト		
	20	履歴書作成	まとめ	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	実践行動学Ⅱ(就職実務)		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	30時間(前後期合せて)	週時間数	1時間	
学習到達目標	就職活動を始める前の準備			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・活動状況等			
使用教材	SUCCESS			
授業外学習の方法	学科授業を受けて、また、この授業を受けて将来自分のなりたい姿を常に考える事			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 後期	1	志望動機の作り方 1	実践)業界、会社にあった動機作り	
	2	志望動機の作り方 2	実践)業界、会社にあった動機作り	
	3	作成書類 1	実践)加えて履歴書、エントリーシート、添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、その他の書類(事務局の書類の手続き)、ポートフォリオなどの話しもしてください。*履歴書の完成	
	4	作成書類 2		
	5	作成書類 3		
	6	企業訪問	準備、当日、事後の指導をしてください	
	7	就職試験のマナー 1	入退室	
	8	職試験のマナー 2	面接試験対策1	
	9	職試験のマナー 3	面接試験対策2	
	10	筆記試験対策 1	筆記試験について、種類や方法を知る	
	11	筆記試験対策 2	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	12	筆記試験対策 3	特に小論文の書き方(内容は自己PRや志望動機をまとめる内容がよい)	
	13	企業研究1	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	14	企業研究2	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	15	企業研究3	求人票の見方・自分の希望する企業を調査(実践)	
	16	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	17	履歴書・面接試験	履歴書、入退室の確認は必須	
	18	ポートフォリオについて	作品について	
	19	まとめ	就職活動のまとめ	
	20	レポート	レポート提出	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務Ⅱ	指導担当者名	水野直美
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年		実務経験： 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年
授業方法	講義：○	演習：	実習： 実技：
時間数(通年)	72時間(前後期合せて)	週時間数	2時間
学習到達目標	社会人としての常識・マナーを身に付ける 6月 3級合格を目指す		
評価方法 評価基準	授業態度・課題・検定結果・期末テスト		
使用教材	秘書ハンドブック・問題集・テキスト		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授 業 計 画 前 期	1	1年次の振り返り	秘書検定について
	2	聞き方の基本	命令・指示・忠告を受ける際の聞き方
	3	交際業務	慶事・弔事・贈答(上書き・水引)
	4	パーティ・会議の知識	会議の形式・種類
	5	文書作成	社内・社外文書
	6	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い
	7	グラフ作成	カウンセリングによるグラフの作成方法
	8	オフィス機器・事務機器・ファイリング	資料整理・環境管理
	9	検定対策	過去問による対策授業
	10	検定対策	過去問による対策授業
	11	検定自己採点・解説	過去問による対策授業
	12	期末テスト	
	13	期末テストの振り返り	復習
	14	接客マナー	接客・サービスを学ぶ
	15	接客マナー	接客・サービスを学ぶ
	16	接客マナー	接客・サービスを学ぶ
	17	ご案内	接客・サービスを学ぶ
	18	接客応対	実践的に相モデルで行う
	19	テーブルマナー	シュミレーションをたてる
	20	まとめ	ふりかえり
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	秘書実務Ⅱ		指導担当者名	水野直美	
実務経験	秘書・キャビンアテンダント実務経験10年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	72時間(前後期合せて)		週時間数	2時間	
学習到達目標	社会人としての常識・マナーを身に付ける 11月の2級合格を目指す				
評価方法 評価基準	授業態度・課題・検定結果・期末テスト				
使用教材	秘書ハンドブック・問題集・テキスト				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 後 期	1	3級の振り返り	復習(テキストを使い確認していく)		
	2	聞き方の基本	命令・指示・忠告を受ける際の聞き方		
	3	交際業務	慶事・弔事・贈答(上書き・水引)		
	4	パーティ・会議の知識	会議の形式・種類		
	5	文書作成	社内・社外文書		
	6	文書取扱い・郵便知識	秘文書の扱い		
	7	グラフ作成	社内・社外文書		
	8	オフィス機器・事務機器・ファイリング	資料整理・環境管理		
	9	2級検定対策	過去問による対策		
	10	2級検定対策	過去問による対策		
	11	期末テスト			
	12	接客マナー	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ		
	13	接客マナー	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ		
	14	ご案内	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ		
	15	接客応対	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ		
	16	テーブルマナー	実践的演習によりサロンでのマナーを学ぶ		
	17	まとめ	レポート提出		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学Ⅱ		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合せて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	日本化粧品検定1級取得を目指す				
評価方法 評価基準	授業態度、テスト				
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定1級対策テキスト				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	PART1 化粧品の歴史	テキスト使用		
	2	PART2 原料と基礎知識	化粧品の原料について		
	3	PART2 原料と基礎知識	スキンケア化粧品		
	4	PART2 原料と基礎知識	スペシャルケア、男性肌の特徴		
	5	PART2 原料と基礎知識	メイクアップ化粧品		
	6	PART2 原料と基礎知識	ポイントメイクアップ化粧品		
	7	PART2 原料と基礎知識	ボディ化粧品		
	8	PART2 原料と基礎知識	毛髪の構造とヘアケア製品について		
	9	PART2 原料と基礎知識	ネイルの構造について、香りの成分と働き		
	10	PART2 原料と基礎知識	オーラルケアとケア製品、サプリメントの基礎知識		
	11	テスト			
	12	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品と医薬品医療機器等法、化粧品・薬用化粧品・医薬部外品の効能と効果		
	13	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品の広告やPRのためのルール、化粧品の全成分表		
	14	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品の安全性を守るためのルール、化粧品を安全に保つために、化粧品と肌トラブル		
	15	PART3 化粧品にまつわるルール	化粧品の官能評価		
	16	PART3 化粧品にまつわるルール	おもな化粧品成分		
	17	検定対策	過去問題		
	18	検定対策	模擬問題		
	19	検定試験			
	20	まとめ	検定の振り返り		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	化粧品学Ⅱ		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 2年		
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:	
時間数(通年)	90時間(前後期合せて)		週時間数	3時間	
学習到達目標	日本化粧品検定1級取得を目指す				
評価方法 評価基準	授業態度、テスト				
使用教材	日本化粧品検定協会 日本化粧品検定1級対策テキスト				
授業外学習 の方法	予習、復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業計画 後期	1	PART1、PART2の振り返り			
	2	PART4 化粧品にまつわるルール	化粧品・薬用化粧品・医薬部外品の効能と効果		
	3	PART5 化粧品にまつわるルール	化粧品の広告やPRのためのルール		
	4	PART6 化粧品にまつわるルール	化粧品の全成分表		
	5	PART7 化粧品にまつわるルール	化粧品の安全性を守るためのルール		
	6	PART8 化粧品にまつわるルール	化粧品を安全に保つために		
	7	PART9 化粧品にまつわるルール	化粧品と肌トラブル		
	8	PART10 化粧品にまつわるルール	化粧品の官能評価		
	9	PART11 化粧品にまつわるルール	おもな化粧品成分		
	10	検定試験対策	模擬問題		
	11	テスト			
	12	検定試験対策	模擬問題		
	13	検定試験対策	模擬問題		
	14	検定試験対策	模擬問題		
	15	検定試験対策	模擬問題		
	16	検定試験対策	模擬問題		
	17	まとめ			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー		指導担当者名	小池 久子
実務経験	カラーコーディネーター検定講師 経験14年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年	
授業方法	講義:○	演習:	実習:	実技:
時間数(通年)	87時間(前後期合せて)		週時間数	3時間
学習到達目標	パーソナルカラー検定モジュール1の習得 ブライダル業界において通用するカラーの知識を身に付ける			
評価方法 評価基準	授業態度・課題・テスト			
使用教材	はじめてのパーソナルカラー パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色カード199a			
授業外学習 の方法	テキストの範囲を読んでおく			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	第1章式の自然を表す色 日本の色の歴史 赤系、橙系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	2	第1章色と生活 色の種類 赤系統	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	3	第1章色の種類 橙系統 第2章色の仕組み I 光について	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	4	第1章色の種類 黄系統 第2章色の仕組み II 光源、目の構造	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	5	第1章日本の色の歴史 身分、禁色、襲の色目 日本の色の歴史 黄系、緑系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	6	第1章わび・さび 江戸時代の色彩文化 日本の色の歴史 青系、紫系	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	7	ファッション概論、ブライダル色彩	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	8	肌、皮膚、髪 色と種類	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	9	第1章色の種類 青系統 第2章CUS色調	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	10	第1章色の種類 緑系統 第2章色の三属性 CU S色相	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	11	パーソナルカラーの特徴 色の種類(グレー)	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	12	パーソナルカラー診断 色彩演習	ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、課題プリント、ミニテスト	
	13	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	14	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	15	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	16	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	17	色彩心理・色彩アートセラピー	色彩演習	
	18	前期テスト		
	19	復習		
	20			
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	パーソナルカラー	指導担当者名	小池 久子
実務経験	カラーコーディネーター実務経験14年		実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年
授業方法	講義:○	演習:	実習: 実技:
時間数(通年)	87時間(前後期合せて)	週時間数	3時間
評価方法 評価基準	授業態度・課題・テスト		
評価方法 評価基準	授業態度・課題・テスト		
使用教材	色彩技能パーソナルカラー検定モジュール2公式テキスト パーソナルカラー配色カード モジュール1配色ワークブック 新配色		
授業外学習 の方法			
授業 計画 後 期	1	色彩と生活	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 生活環境と色彩 等
	2	ファッションと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 ファッションコーディネーターにおける色彩 等
	3	ファッションと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 トーンを主体としたカラーコーディネーター 等
	4	インテリアと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 インテリアとは 等
	5	インテリアと色彩	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備 インテリアにおける色の心理的効果 等
	6	色彩検定対策	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備
	7	色彩検定対策	テキスト / 課題プリント / 過去問題 準備
	8	色彩検定答え合わせ	テキスト / 色彩検定問題 準備
	9	色彩心理の集計	テキスト / 色彩検定問題 準備
	10	パーソナルカラー	テキスト / 色彩検定問題 準備
	11	中間試験	試験問題準備
	12	中間試験フィードバック	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル II		指導担当者名	遠藤 淳子
実務経験	ネイルサロンオーナー 実務経験34年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	186時間(前後期合せて)		週時間数	6時間
学習到達目標	ネイル技能検定1級、ジェル中級、上級を目指す。			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技テスト			
使用教材	ネイル用具			
授業外学習 の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	ジェル中級検定確認	ジェル中級検定対策	
	2	ジェル中級検定確認	ジェル中級検定確認(実技・筆記)	
	3	ネイルケア-	ネイルケア-	
	4	第一課題	第一課題ネイルケア-、カラーリング	
	5	第一課題	第一課題ネイルケア-、カラーリング	
	6	第一課題	第一課題ネイルケア-、カラーリング	
	7	第二課題	第二課題ジェルオフ	
	8	第二課題	第二課題ジェルグラデーション	
	9	第二課題	第二課題ジェルイクステンション	
	10	第一第二課題	ポリッシュオフ	
	11	第一第二課題	ジェルフレンチカラーリング	
	12	第一第二課題	復習・テスト範囲確認	
	13	テスト		
	14	ジェル中級検定	ジェル中級検定	
	15	ネイル1級検定対策	ネイル1級検定内容確認	
	16	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション スカルプ	
	17	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション スカルプ	
	18	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション スカルプ	
	19	ネイル1級検定対策	ネイルイクステンション チップオーバーレイ	
	20	ネイル1級検定対策	ネイルアート	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	ネイル II	指導担当者名	遠藤 淳子
実務経験	ネイルサロンオーナー 実務経験34年		実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2 年
授業方法	講義:	演習:○	実習: 実技:
時間数(通年)	186時間(前後期合せて)	週時間数	6時間
学習到達目標	ネイル技能検定1級、ジェル中級、上級を目指す。		
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・実技テスト		
使用教材	ネイル用具		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業 計画 後 期	1	ネイル1級検定対策	ネイルアート
	2	ネイル1級検定対策	通し
	3	ネイリスト技能検定1級検定	ネイリスト技能検定1級検定
	4	復習	復習
	5	ジェル上級検定対策	ジェル上級検定内容確認
	6	ジェル上級検定対策	スカルプ
	7	ジェル上級検定対策	スカルプ
	8	ジェル上級検定対策	チップオーバーレイ
	9	ジェル上級検定対策	チップオーバーレイ
	10	ジェル上級検定対策	チップオーバーレイ デザイン
	11	テスト	
	12	ジェル上級検定	チップオーバーレイ デザイン
	13	ジェル上級検定	チップオーバーレイ フレンチ
	14	ジェル上級検定	チップオーバーレイ フレンチ
	15	ジェル上級検定	通し
	16	ジェル上級検定	ジェル上級検定
	17	まとめ	まとめ
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	メイク II		指導担当者名	高橋 貴美子	
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験:	有
開講時期	通年		対象学科学年	メイク・ネイル学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:	
時間数(通年)	216時間(前後期合せて)		週時間数	6時間	
学習到達目標	ハリウッドエアー エアブラシの技術 メイクセラピー検定3級合格を目指す				
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テスト・作品の仕上がり				
使用教材	メイク教材 メイクセラピーテキスト				
授業外学習 の方法	予習復習				
学期	ターム	項目	内容・準備資料等		
授業 計画 前期	1	エアブラシの特徴	基本技術・特徴		
	2	エアブラシ演習	ファンデーション		
	3	エアブラシ演習	カラーの選び方		
	4	エアブラシ演習	エアーブラシの使い方。		
	5	エアブラシ演習	ブラシの角度		
	6	エアブラシ演習	相モデル		
	7	エアブラシ演習	パーツに合わせた技術の確認		
	8	エアブラシ演習	ステンシルの使い方		
	9	エアブラシ演習	スキンケア～仕上げ		
	10	エアブラシ演習	タイム計測		
	11	エアブラシ演習	タイム計測		
	12	エアブラシ演習	タイム計測		
	13	テスト			
	14	まとめ	確認		
	15	フェイスプランについて	立体メイク テキスト(p. 4～7)		
	16	相モデルでナチュラルメイク	テキスト(p. 8～10)		
	17	セルフメイク 立体メイク	テキスト(p. 10～17)		
	18	立体メイク応用編	メイクセラピー テキスト(p. 26～29)		
	19	メイクアップ概論	テキスト(p. 34～37)		
	20	遠心メイク	テキスト(p. 38～43)		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない					

授業計画(シラバス)

科目名	メイク II		指導担当者名	高橋 貴美子
実務経験	オフィスマーベル代表 メイクアップアーティスト 実務経験33年			実務経験: 有
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科 2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:	実技:
時間数(通年)	216時間(前後期合せて)		週時間数	6時間
学習到達目標	ハリウッドエアー エアブラシの技術 メイクセラピー検定3級合格を目指す			
評価方法 評価基準	授業態度・提出物・期末テスト・作品の仕上がり			
使用教材	メイク教材 メイクセラピーテキスト			
授業外学習 の方法	予習復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 後 期	1	錯覚メイク	テキスト(p. 44~47)	
	2	テーマにそったメイクプラン作成	テキスト(p. 18~21)	
	3	技術テスト(40分)	テキスト(p. 22~25)	
	4	メイクセラピーテキストまとめ	メイクセラピーDVD	
	5	メイクセラピー練習問題対策	過去問題模擬試験	
	6	メイクセラピー模擬テスト	過去問題模擬試験	
	7	特殊メイク	ハロウィンメイク	
	8	特殊メイク	作品写真撮り	
	9	洋装ブライダルメイク プラン作成	テーマ別プラン作成	
	10	洋装ブライダルメイク作成	作品写真撮り	
	11	テスト		
	12	ピエロメイク プラン作成	テーマ別プランの作成	
	13	ピエロメイク作成	作品写真撮り	
	14	宝塚メイクプラン作成	テーマ別プランの作成	
	15	宝塚メイク作成	作品写真撮り	
	16	セラピー検定	検定	
	17	まとめ	レポート	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	企業実習	指導担当者名	企業指導者
実務経験	実習企業指導者		実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	メイク・ネイル学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	30時間	週時間数	15時間
学習到達目標	実践授業の一環として、目指す業界の仕事に触れることでマナーや仕事内容を理解する。		
評価方法 評価基準	実習態度や実習対応力を中心に、基礎的知識等を判断していただき、評価表を提出する。		
使用教材	企業毎に違う		
授業外学習 の方法	自宅での予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	2	企業実習	企業毎の接客マナーや電話対応、基礎的なルーティンワーク
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作		指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年			実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年	
授業方法	講義:	演習:○	実習:◎	実技:
時間数(通年)	138時間(前後期合せて)		週時間数	3時間
学習到達目標	2年間の集大成としての作品作り			
評価方法 評価基準	プレゼン、提出課題			
使用教材	I pad メイク用品 ヘア用品			
授業外学習の方法	予習、復習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業 計画 前期	1	一年の復習	今後の流れを確認する	
	2	パワーポイントの使い方	パワーポイント使用の確認	
	3	卒業制作	テーマを決める	
	4	卒業制作	デザイン案を制作する	
	5	卒業制作	企画書を作成する	
	6	卒業制作	企画書を作成する	
	7	ヘアメイクプランシート作成	企画書を作成する(プランシート)	
	8	ヘア実践	相モデルによる練習	
	9	ヘア実践	相モデルによる練習	
	10	ヘア実践	相モデルによる練習	
	11	ヘア実践	相モデルによる練習	
	12	メイク実践	相モデルによる練習	
	13	期末テスト		
	14	ネイル実践	相モデルによる練習	
	15	ネイル案シート作成	相モデルによる練習	
	16	ネイル作成	相モデルによる練習	
	17	ネイル作成	相モデルによる練習	
	18	ネイル作成	相モデルによる練習	
	19	全体プランシート作成	プランニングシート提出	
	20	全体プランシート作成	見直し	
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない				

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験	美容師実務経験18年		実務経験:
開講時期	通年	対象学科学年	メイク・ネイル学科2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	138時間(前後期合せて)	週時間数	3時間
学習到達目標	2年間の集大成としての作品作り		
評価方法 評価基準	プレゼン、提出課題		
使用教材	I pad メイク用品 ヘア用品		
授業外学習 の方法	予習、復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	衣装合わせ	衣装制作(コーディネート)手配
	2	衣装合わせ	衣装制作(コーディネート)手配
	3	パワーポイント作成	プレゼン資料作成
	4	パワーポイント作成	プレゼン資料作成
	5	パワーポイント作成	プレゼン資料作成
	6	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	7	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	8	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	9	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	10	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	11	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	12	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	13	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	14	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	15	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	16	プレゼン制作	メイク・ネイル・エステと衣装までで制作・練習を行う
	17	卒業制作発表	プレゼン
履修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない			

授業計画(シラバス)

科目名	海外文化研究	指導担当者名	佐々木 美代子
実務経験			実務経験:
開講時期	前期	対象学科学年	メイク・ネイル学科 2年
授業方法	講義:	演習:	実習:○ 実技:
時間数(通年)	36時間	週時間数	18時間
学習到達目標	海外の文化に触れ、業界の手法の違いを学び、広い視野を持てるように学ぶ		
評価方法 評価基準	研修態度や実習対応力を中心に、研究レポートによる評価する。		
使用教材	オリジナル資料		
授業外学習 の方法	宿泊先での予習・復習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	海外研修	出国入国の知識や体験、業界の仕事の違いを研修し体得する
	2	海外研修	出国入国の知識や体験、業界の仕事の違いを研修し体得する
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
履修上の留意点 不参加の場合は、成績評価対象外となる			